



表紙の写真

南アルプス市 西吉田
「くもの巣祭り」

毎年3月の上旬、西吉田の寶泉院で行われる「くもの巣祭り」。寺は創建約500年という曹洞宗の古寺。脇仏として祀られた阿弥陀如来は、真心を込めて唱えると、百病快癒、心身安穩、悪星退散、善星皆来の御利益あらたかであるといわれる。

祭りの日は、当番の組が朝から夕方まで団子、くもの巣(天井飾り)、梵天(阿弥陀さんの身代わり)、お供え作りに明け暮れる。

祭りには大勢の若いお母さん、お祖母さんが赤ん坊や小さい子供を連れて参詣する。村中の人達が風邪を引かないように、特に幼い子供が風邪を引かないように、丈夫に育つようにと願いを込めるのだ。

「MUH」vol.35 2006.10.1

企画／早野グループ「MUH」編集室

深沢進・矢田道生・平野達也・青柳友昌・樋口明美・萩原美恵

編集／株式会社ニュースメディア甲府

三神弘・三井君男／高山ひとみ／千野和美／萩野由香／宮塚利雄・杉村聡／

浅川毅・標克明・永田宏

印刷／株式会社サンニチ印刷

誌名の「MUH」は、早野組の社訓である「和」を託したMate(仲間) Union(結束) Harmony(調和)の頭文字からとりました。幻のムー大陸のロマンを目指します。

フォーラム			
テーマ	気晴らし	江宮隆之・古屋久昭・岩崎正吾・佐藤眞佐美	2
対談			
山梨21	中込 紀子	さん 酒蔵ギャラリー「六斎」代表 株式会社萬屋醸造店常務取締役	4
	旧暦と暮らす スローライフの提唱 地域文化とギャラリー「六斎」		
	ホスト	早野 潔	
トピックス			
	異常気象に脅かされる東アジア	宮塚利雄	10
ウォッチング			
	株式会社環境保全研究所		11
サークル訪問			
	山梨マジッククラブ		13
セミナー			
	土地への礼儀～	深谷百合苗	14
山梨の祭り			
	くもの巣祭り(南アルプス市西吉田)		15
インフォメーション			
	早野組・ネットヨタ甲斐・トヨタホーム山梨・甲府通運・ロード・やさしい手甲府		16
歴史			
	高坂弾正昌信	上野晴朗	18
美術			
	ボクのやまなしフィールドミュージアム02	山本育夫	20
BOOK	こんなところに山梨…	BOOKコーナー 「山梨の歌人たち」	22
	お茶の間の民俗学 やまなし・ふるさとの歌と芸能をたずねて		
	幡野八幡神社お開帳の祭り(一)	水木 亮	23
名峰からの富士山			
	甲武信ヶ岳	上野 巖	24
	甲府通運前史を訪ねる(28)	林陽一郎	25
ユーザー訪問			
	介護保健施設 玉穂ケアセンター		26
お家拝見			
	清水 善次郎	さん	27
ときのひと・FACE			
	株式会社やさしい手 甲府 在宅事業部 富士見事業所	清水 しをり	さん 28
やさしい手甲府			
	介護保険情報 一介護予防一		29
おしゃれ	アルペンフィットネスクラブ甲府	たべる La cour	30
コラム			
	某月某日	杉村 聡	31
ロードのページ			
	甲斐の細道「富士山景勝の道 一逸見路一」	若林賢明	32

人魂でゆく気散じや夏の原

江宮隆之

気晴らし

ストレスが堪える現代人。

「何か、ぱっと気晴らしをしなきゃあ、やり切れない」とばかり、酒に、競馬に、パチンコに。その結果、余計にストレスが堪えることに・・・。

とはいえ、他人に勧められてやることには限界があったりして。やはり、気晴らしは「自分の好きなことを、自由にやる」。それが一番。

年寄りの冷や水、とからかわれてもバイクに乗ってツーリング。高速道路をぶっ飛ばすのも一興。

フォームが違うよ、こうだよ。なんてしたり顔のアドバイスは無視して、自分流の打ち方で「パー」を拾えば十分。もしかして「パーディ」を出したら、それが最高。

華麗でなくても、くるくる動いて汗を掻いて、楽しければ「シャル・ウィ・ダンス」。

という訳で、「気晴らし」は気晴らし。この『気晴らし』。江戸時代には、「気散じ」ともいった。

この時代にもストレスはあった。当然のことである。そんな時に、人々は銭湯に行った。今も流行の「スパ」「温泉」「大衆浴場」のことである。

一人で家にいてもつまらない。といって大勢を呼び寄せるほど長屋暮らしは広くない。という訳で、気散じの一つに銭湯が利用された。

そこで誰かが言い出しての「芝居ごっこ」である。いい年をした小父さんたちが、高麗屋だの音羽屋だの言い出して、果てには「俺が三津五郎」「いや、半四郎だ」と大騒ぎ。

そこで助六(役)が吉原の煙管の雨に大見得を切る。いそいそと近付く花魁・揚巻は、なよなよとした女形。「こいつめ、気色悪りいじゃねえか」と頭をこつん。

そこで、浮世風呂は大混乱。収拾がつかないまま、今度は別の気散じを、ということになる。「今度は、紅葉狩りにでも行こうか」で、しゃんしゃん。

江戸時代の気晴らしも現代と似たようなもの。「人魂でゆく気散じや夏の原」は、そんな時代に生きた絵師・葛飾北斎の辞世の句。あの世に気晴らしに行く、というのだから、さすがに北斎は奇才である。

気晴らしの使い方

古屋久昭

いつのまにか前立腺の癌がレッドラインの3倍まで進行していた。このため前立腺全摘除をおこない、1か月近くを病院のベッドで過ごすこととなった。

出血多く6時間を要した手術だったが、経過は良く、2週間が経過したころには退屈感が出はじめた。

しかし、ちょうどトリノ冬季オリンピックの最中であったり、普段読めなかった本を読むのには十分なる時間がころがっていた。

その一方で尿道からカテーテルをはずしてからは尿失禁のため、夜中にちょくちょくトイレに行かねばならなかった。そのせいで眠れない夜が続いた。

だが、それは私にせせりを生じさせるというものではなかった。評判のNHKラジオ深夜便をおかげで毎夜じっくり聴くことができたのだ。

時間とはいいいものである。どんな場合でもいざという時、気晴らしという女神を用意してくれる。

気晴らしは名脇役でもある。主役が硬直したとき、疲弊したとき、緊張が続いたとき、退屈のとき、気晴らしという脇役が見事に代役をつとめ主役を救ってくれるのだ。

さて、わが日常での気晴らしはどうであろうか。正直、

不思議なことに、気晴らしのために何かをしようと考えたり思ったりしたことがないままに私は還暦まで生きてきたような気がしてならないのだ。

生き方が下手なのか、どうも私には気晴らしの女神とは縁がないみたいだ。いつも何かに急かされていて、それゆえ、ときには気晴らしを、と思うのが普通なのだが、その余裕さえもてない不器用な忙し屋さんなのだ。

ただ、よくよく考えてみると、私の行動ジャンルやパターンがあまりにも多く広すぎるということがあり、めまぐるしく変わる日々の行動、それが結果的には私の気分転換となり、つまり、あえて気晴らしを必要としなかった、とも言えるのだ。

ところで、気晴らしも時代とともに変わるものである。気晴らしに人を殴った、なんていううちはまだいい。人を殺した、家に火をつけた、パソコンにウイルスを放った、はては、核ボタンに…。

このように、気晴らしというものはイコール愉快犯にもなりうるものだ。悪用すれば恐怖である。

気晴らしの女神よ、「気晴らしには善にも悪にも公平よ」などと言わないで。

気ばらしとしての読書

岩崎正吾

「気晴らし」、「気散じ」とも書く。しばらく忘れていた言葉だ。自分の生活の中には必要ない言葉だったし、たぶんこれからもそうだろう。

しかし、若い頃、「気ばらしとしての読書」ということをめぐって、あれこれ心の中で葛藤した思い出がある。だから「気ばらし」と聞くと、なつかしい反面、せつないような気分にもなってくる。

10代の終わりから20代の初め頃、めっちゃくちゃ本を読んだ時期があった。1日1冊、早いときは2冊。しかし、その本というのは、主として外国のミステリーだった。古本屋で買った安い文庫本のたぐいが、下宿に山とあった。

大学生の読書として、これらの本がふさわしいと思っていたわけではない。自分でも恥ずかしい本だという思いがあって、他人の目から隠すようにして読んでいた。友人が下宿に来そうなときは、本の山は押入れの中などに隠しておいた。

ところが、だんだんに注意力がなくなってくる。というより、ミステリーの面白さにとりつかれて、まわりはどうでもよくなってしまったのだろう。あるとき、読

んでいるところを、同じサークルの真面目な友人に見つかってしまった。

「何、読んでるの？」

そう言って、友人はわたしの手から本を取り上げ表紙を見た。そして、ミステリー小説だと知ると、わたしに軽蔑的な口調で言った。

「こういう本はね、引退した人が読むものじゃない」そう言われると、わたしには一言もない。ただただ恥入って、下を向くしかなかった。しかし、その後もわたしはミステリーを読むことをやめなかった。さすがにミステリー一辺倒ではなくなったが、読書には教養のためだけではなく、気ばらしのものもあるのだと知ったのである。それまでの純文学一辺倒から、気ばらし、娯楽、エンタテインメントの読書の価値を知ったともいえよう。

その後、わたしはミステリー作家になったが、わたしに「引退した人の読み物」と言った男(石田善彦)が、高名なミステリー翻訳家になったのには驚かされた。

我らの胸あなたと同じ

佐藤眞佐美

長崎県の大浦天主堂は、洋風建築で唯一国宝に指定されている。1865年(慶応元)に落成し、地域の人々に当時フランス寺と呼ばれた。フランス人神父プティジャンが、居留地在住者のためにを名目に天主堂を建てたのには、別の目的があった。16世紀半ば平戸島にキリスト教が伝わり、またたくまに長崎県全域に広まった。秀吉が天下を統一するとバテレン追放令を発し、キリスト教は禁教となる。キリシタンはみな地下に潜った。それから250年、彼らの子孫がどこかにいるに違いないと、発見を期待しての建立であった。

大浦村の農民は全員キリシタンで、彼らはバテレンなきあともひそかに信仰を守り続けていた。「七代経てば、ローマのパーパからパードレが送られてくる」という伝承があり、「沖に見えるはパーパの船よ 丸にやの字の帆が見える」という唄を口ずさみ、伝承の実現を願っていた。「丸にやの字」はマリヤのことである。

ゴシック調のフランス寺は話題になり、見物人がひきも切らない。ちょうど七代目にあたる大浦の農民十数人が、ある日見物人に混じってフランス寺を訪れる。ひと

りの婦人が神父に近づき、胸に手を当てこう言った。「われらの胸、あなたと同じ」

えっと歓喜し、パリ外国宣教会日本管区長ジラル神父へ宛てた手紙にプティジャンは、その日の出来事「信徒発見」を感動的に記す。世界宗教史に特筆される物語の誕生であった。彼らは潜伏キリシタンと呼ばれた。その後ぞくぞくと潜伏キリシタンがフランス寺を訪れ、信仰を回復する。日本カトリック教会はここから始まった。

長崎県には外に、隠れキリシタンと呼ばれる人々がいる。このときフランス寺に帰属せず、仏教や神道、土俗の信仰などを融合して、250年間独自に信仰を育んできた人々である。

わたしたち夫婦は気晴らしに、盆の三が日長崎を巡った。隠れキリシタンの遺跡を訪ね、大浦天主堂に参拝し、受難のキリスト教史を取材した。隠れキリシタンは若者にそっぽを向かれ、後継者不足で消滅寸前。良否はともかく、日本のある種の文化が、またひとつ消える。いつかこれを素材とする物語を書くつもりでいる。

江宮隆之■
えみや・たかゆき
1948年増穂町生まれ。
作家。第13回歴史文学賞、第8回中村屋文学賞受賞。代表作に『白痴の人』など。最新刊は『真田幸隆』(学研M文庫)

古屋久昭■
1943年増穂町生まれ
日本現代詩人協会員 日本現代詩歌文学館評議員 詩集に『落日探集』ほか。童謡集に『虫らしく花らしく』 エッセー集等

岩崎正吾■
1944年甲府市生まれ
作家 山梨ふるさと文庫代表 現在 1冊でも本のつくれるオンデマンド印刷機を山梨に導入しようと奮闘中 また インターネット上で作家 出版活動しようとして模索中 今春新作ミステリー『探偵の冬』が刊行され 同時に『探偵の秋』が文庫化される

佐藤眞佐美■
1939年北海道生まれ
日本児童文学者協会 日本児童文学協会 著書に『怪奇! 大東京妖怪ゾーン』(ゴブラ社)『文ちゃんのはるかな知床』(北海道新聞社) 近著に『シレットのシルバー』(華炎社)『山梨の童話』(リブ出版)など

旧暦と暮らす スローライフの提唱 地域文化とギャラリー「六斎」



中込 紀子 さん



早野 潔

ゲスト

中込 紀子さん
酒蔵ギャラリー「六斎」代表
株式会社萬屋醸造店常務取締役

ホスト

はやの 早野 潔 早野組社長

創業は寛政2年(1790) 晶子の命名「春鶯囀」

早野 今日は増穂の「萬屋醸造店」にお邪魔をしています。寛政2年(1790)の創業で、甲斐の銘酒と賞賛される伝統を培ってられました。「春鶯囀」は、歌人・与謝野晶子の歌に由来するとのこと。中込 昭和8年(1933)に与謝野寛・晶子ご夫妻が甲斐路を旅行された折、増穂においでになり、萬屋醸造に宿泊されました。そのときに、晶子の詠まれた歌があります。

法隆寺など行く如し

甲斐の御酒春鶯囀のかもさるゝ蔵

「春鶯囀」というのは、中国古来の雅楽名で、唐の高宗皇帝が鶯の声を聞き、音楽家に作らせた曲だということです。**早野** 与謝野寛・晶子ご夫妻は全国を旅していますから、地酒の味わいについてもよくご存知だったことでしょう。気品のある味わいが、曲を連想させ、歌になったのですね。中込 萬屋の蔵のたたずまいが、法隆寺の雰囲気にも似ていると感じられたそうです。

早野 「萬屋醸造店」と与謝野ご夫妻とは、どのようなご縁ですか。

中込 「萬屋醸造店」の6代目は中込 辰で、その弟に、純次がいます。文化学院の第1期生で、ここで与謝野ご夫妻の教えを受けました。文学に親しんだ人で、短歌や詩を作り、同人雑誌を発行したりしていました。

辰も文学に造詣が深く、大学時代に父親を亡くして家業を継ぎます

が、文化学院を設立した西村伊作をはじめ、佐藤春夫、石井柏亭、阿部知二といった方を自宅にお招きし、交流をしました。

早野 文化に敏感で、洗練されたご家系でいらっしゃいますね。

中込 母親はさとじといいますが、短歌をされ、与謝野ご夫妻に送っては教えを戴いていました。手紙のやりとりもあり、こうしたご縁から、甲斐路の旅行が計画されました。

早野 甲斐路の旅では、どのようなところへおいでになったのですか。晶子はお幾つだったのでしょうか。

中込 紅葉の季節で、まず、勝沼へ行き、昇仙峡で1泊し、増穂では富士川を散策されました。この甲斐路の旅で、晶子は63首の歌を詠んでいます。56歳でした。

早野 それほどに、山梨の自然にここを打たれ、また、素晴らしい人との出会いがあったのですね。もとより、「萬屋醸造店」の銘酒が、与謝野ご夫妻の旅の情感を深めたことでしょう。

ご主人は、伝統ある「萬屋醸造店」の9代目でいらっしゃいますね。奥様は、ご結婚され、増穂にいらして、どのくらいになられますか。

中込 20年になります。実家の仕事の関係で、杜氏さんたちの仕事ぶりを身近に感じながら育ってきました。

早野 大学では美学を学ばれましたし、学芸員でもいらっしゃいます。与謝野ご夫妻や、「春鶯囀」のエピソードなどには、たいそう興味をもたれたことでしょうね。

中込 嫁いだばかりの頃は、宝の宝庫のような家だと感じました。先祖

のお書きになった日記を読んだり、由緒ある美術品などを鑑賞したりと、押し入れの襖を開けるのが楽しかったですね。

注目の文化交流の「市」 酒蔵ギャラリー「六斎」

早野 そうした奥様でなければ発想できないのが、酒蔵ギャラリー「六斎」です。オープンされて今年で6年になりますね。

中込 近年、ナショナルブランドでないお酒、つまり、地方の独特なお酒である地酒が注目されるようになりました。お酒がどのような土地で、どのように造られているのかに関心をもたれ、酒蔵を訪ねるファンも多くなりました。

早野 どなたも自分の選んだお酒、自分の支持するお酒というのをもちたいし、誇りたいですよね。酒談義をしてもみたいものです。

中込 まず、「萬屋醸造店」の酒造りの姿勢を知っていただきたいと思いました。そして、試飲をしていただき、お酒と料理など、お酒にまつわる提案や、交流ができたならと、夢をふくらめていきました。

このギャラリーは、150年前の蔵を活用しています。

早野 安政の頃のものですね。立派で、風格がありますね。都会からおいでになる方は、ことに驚かれることでしょう。1階はサロンですね。いろいろなイベントができますね。

中込 2階がギャラリーで、先祖が大切にしてきた所蔵品などを展示し、ご覧戴いています。また、企画展をしましたり、いろんな作家の発表の場としてお使いいただいています。



早野 「六斎」の名前の由来は何でしょう。

中込 人が大勢集まり、ものを売買する「市」です。その昔は三日市、十日市などがありましたが、ここ増穂町には、月に6回開かれる市があり、「六斎市」と呼ばれていたそうです。天正8年(1580)に武田勝頼の命により興ったといわれます。この歴史を尊びたいと思いました。

早野 勝頼が新府城を築き、甲府から館を移した頃ですね。

中込 もともと「市」というのは、ものづくりをしている人と、それを求める人の、農産物や生活品の交換の場、また交流の場でもありました。そこで、家業の酒という、ものづくりをとおして、現代の「市」ができたなら、と願いを託しました。

早野 これまで多彩なイベントを展開されてきました。「春鶯囀」ゆかりの「与謝野晶子展」や、増穂町ゆかりの「高村智恵子展」、古い酒造りの道具などの「酒蔵展」、また、クラブ作家による「富士川流域の技・作

家展」など、いずれも地域に根ざした文化の発信です。

人が集えば、おのずと斬新な発想や、提言が生まれていきますね。

中込 はい。そのひとつが、「峡南の歴史と文化を学ぶ会」です。増穂町にゆかりのある「石橋湛山展」も開催しました。

早野 第55代内閣総理大臣ですね。「大日本主義の幻想」「更正日本の針路」などの発言があり、「日本で最高の言論人の一人」と評価されています。中込 父親が増穂町「昌福寺」のご住職で、増穂尋常小学校に通い、わずか11歳でいまの甲府第一高等学校、当時の山梨県尋常中学校に進学しました。湛山はここでクラーク博士の教えを受けた大島正健校長と出会い、感銘し、将来は宗教と教育に関係した仕事をしたいと、決意したそうです。

早野 「昌福寺」は300年も続く子供の「虫切加持」で知られています。また、クラーク博士はアメリカから札幌農学校へ赴任した博士で、「少年

よ大志を抱け」の言葉が有名です。

中込 この言葉を全国に広めたのが、大島正健校長です。「石橋湛山展」では、湛山の人格を形成した山梨で過ごした幼少期・青年期に焦点をあてました。

早野 地域を学ぶことで、誇りと自信がもてますね。こうした企画展は、じつに60回を迎えようとしています。

「スローライフ」の提案 旧暦と酒造り、旬の味わい

早野 酒蔵ギャラリー「六斎」ではかねてより「スローライフ」を提案されていて、定期的にイベントを開催されています。5周年記念展では「旧暦と暮らす」をテーマに、音楽と旬の料理と酒を楽しもうという趣向でした。

「スローライフ」の発想とは、どのようなものでしょう。

中込 一時期「スローフード」ということがいわれましたが、そのとき主人が「米作りからはじまり、時間をかけて醸造する酒こそ、スローフードだな」と、つぶやいたことがあります。そして、「旧暦」というものを知ったとき、月のサイクルと人間の身体や、旬のサイクルについての謎が解けた気がしました。「スローライフ」というのは「旧暦と暮らす」ということです。

また、お酒の言葉には、旧暦に関わる言葉がたくさんあります。たとえば「初飲み切り」というのは、夏の土用を過ぎた頃、今年のお酒の出来はどうかと、初めて封を切って飲む行事です。

早野 酒造りは旧暦に基づいているのですね。いわゆる「蔵出し生原酒」ですか。

中込 蔵ならではのお酒で、今は夏の土用を過ぎ、まろやかとなり、味わい深くなります。日本酒の変化を旬ごとに楽しんでいただけます。

早野 旧暦の特徴はどのようなところにあるのでしょうか。

中込 1月・2月・3月が春、4月・5月・6月が夏、7月・8月・9月が秋で、1年のはじまりが春の第1日目になります。今年は1月29日が旧暦のお正月でした。

月の1カ月の周期は29.5日で、1カ月が30日の大の月と、29日の小の月とになりますから、毎月1日が新月、15日頃が満月になります。そして、19年に7度の割合で閏月があり、その年は1年が13カ月になります。

今年は閏月が秋となる7月に入りますから、秋が4カ月になります。

早野 昔は旧暦によって農作物の作付けを決めていましたし、いまでも使われていますね。

中込 人間をはじめ動植物のバイオリズムは、太陽の動きだけではどうしてもつかむことができません。やはり、月の満ち欠けと関係がありそうです。

旧暦と暮らしていると、本当に暦のとおりになが咲いて、不思議です。旬ということがわかります。

早野 明治政府によって「新暦」が発表されたのは明治5年のことで、「文明開化」がその理由といえます。ところが、「新暦」では気候風土がわかりにくいですね。歴史の記録や、古典文学も、旧暦と照らしてみないと、理解できないでしょう。

中込 俳句の季語も、そうですね。

早野 お馴染みの「赤穂浪士の討ち入り」は元禄15年12月14日で、大雪

が降りますが、これは旧暦で、いまの暦ではだいたい1月の終わりでしょう。大雪もうなずけます。

中込 気候に敏感なご商売、たとえばファッションメーカーなどは、旧暦を使って販売計画を立てるともいいます。

もちろん、釣りのお好きの方は「旧暦」に敏感のようです。新月や満月の「大潮」のときは魚のバイオリズムが旺盛で、大漁になるといいますね。

酒造好適米「玉栄」 地元増穂町で契約栽培

早野 「萬屋醸造店」では、酒造好適米「玉栄」を地元増穂町で契約栽培し、酒造りをしていらっしゃるようです。これは「からし菜」を使った有機農業ですね。種まきから、稲の生長、稲刈りと、手がかかるでしょうね。

中込 「玉栄」の田は、きからし菜を緑肥とするのですが、その種まきを12月の中旬に行ないます。4月の中旬になりますと、背丈が60センチを超え、花が咲きはじめ、月末には一

面満開になります。

早野 これに合わせて、種籾の選別作業が行われるのですね。

中込 「塩水選」といいますが、生卵が浮くほどの塩水に種籾を入れてかき混ぜますと、中身がしっかり詰まっているものだけが沈みます。これが今年の種になります。

きからし菜が満開になったところで、緑肥にするためのすき込み作業をします。これにより土に十分な栄養が与えられ、除草の効果も期待できます。

ついで、ベルトコンベア式の播種機を使って「播種」です。これは5月に入ってすぐの頃です。

早野 そして、苗の生長を見ながら、田植えの時期を待つのですね。

中込 苗は1カ月で15センチほどに成長し、「田植え」となります。「田植え」のポイントは、刈り取りがスムーズに行えるよう、真っ直ぐに植えていくことです。

早野 稲の生長が日々、楽しみですね。



県産酒米の63%を使用
蔵の特色を出す「精米」

早野 普通のお米と「玉栄」の生長の違いはどんなところでしょう。

中込 7月の半ばになりますと、丈が50センチほどになり、葉が青々として、田に張ってある水が見えないほど株も太くなります。8月の半ばには105センチにもなり、飯米の稲より丈がずっと伸びます。

9月の20日頃には稲穂がぎっしり実り、重たく垂れ下がります。10月になり、稲の全体が茶色になりかかると、いよいよ刈り取りです。「稲刈り」には2、3週間かかります。コンバインで刈り取りから脱穀まで行ないます。

早野 良質であることの判断基準は、どこにありますか。

中込 粳の粒が揃っていて、殻をむくと酒米に重要な「心白」がしっかり

と粒の中心にあることです。

早野 一般に酒造りという、蔵での仕込みを連想しますが、お米が重要なのですね。

中込 「萬屋醸造店」では増穂で契約栽培している「玉栄」や、平林地区の棚田で収穫される「美山錦」など、県産酒米の63パーセントを使用しています。お米にこだわることで、その蔵のお酒の特質になっていくからです。

早野 お米の収穫のあとは、「精米」ですね。

中込 玄米を精米機に入れてお米の粒を削っていく作業を「精米」といいます。お酒として使うには、80パーセントから40パーセントまで削ります。大吟醸のように35パーセントまで削るのは、70時間も、80時間もかかります。

早野 このお米の削り方、精米の仕方、お酒の種類が分けられるので

すね。

中込 大吟醸酒は40パーセント、純米吟醸酒は50パーセント、純米酒は60パーセントが目安です。

昔の酒蔵では何処でも自分の蔵で精米していたのですが、昭和40年頃から効率化やコストの問題で、精米が分業化されてしまいました。いまでは、山梨においては4軒の醸造元が精米機をもっているだけです。

早野 お話を伺うほどに、お酒は「スローフード」ですね。お酒好きは醸造元の心意気や、しぐみを知ること、さらに味わいも深まることでしょう。今年の稲刈りも、もうすぐですね。

中込 立派な実りです。

早野 酒蔵ギャラリー「六斎」のこれからのイベントも楽しみにしています。

〔構成：三神 弘〕



春鶯囀・酒米づくり

萬屋醸造店では地元、増穂町で栽培した酒造好適米「玉栄」を使って、酒造りをしています。また2004年から町内の別の地区では「美山錦」の栽培が始まりました。『春鶯囀・酒米日記』では酒米が生長していく様子をご覧頂き、地元の米と水で醸した「地酒」をより身近に楽しんで頂ければと思います。

玉 栄 増穂町青柳地区



地元農家の秋山和雄さん
にお願いして
1999年から

契約栽培を始めた酒造好適米で、純米酒「鷹座集」の原料米です。「玉栄」はもと滋賀県の標高の低いところの米で増穂の地と合うことや、この米からは酸味のしっかりした旨みのある、ぬる燗に向くようなお酒が造れるということから、この米の栽培を決めました。

秋山さんは2004年から増穂町の隣りの南アルプス市南湖地区で「美山錦」の栽培も始めました。

青柳地区の田んぼは当蔵から東へ車で3分ほどのところ、富士川大橋のたもとにあります。



美山錦 増穂町平林地区

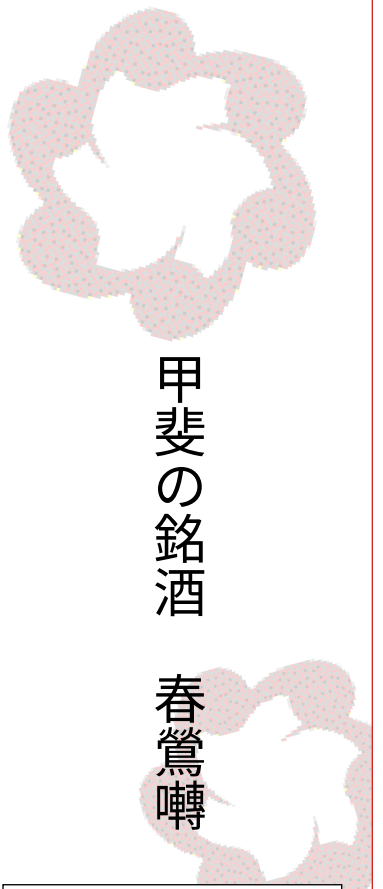
平林の土地を愛し、地域の活性化を図ろうと集まった42人の『郷思の会』のメンバーが2004年から「美山錦」の栽培を始めました。



棚田は標高700～800メートルのところにあり、その涼しい気候に適するというところで「美山錦」を選びました。

平林地区は櫛形山の中腹にある、豊かな自然と清らかな水が自慢の山間の土地です。櫛形山の伏流水は春鶯囀の酒の仕込み水としても用いられています。

平林地区の棚田は当蔵のある増穂町青柳から西の櫛形山に向かって車で15分ほど登ったところにあります。



異常気象が世界中で農業生産や市民生活に大きな被害をもたらしている。8月12日には日本各地は上空に氷点下6度以下の寒気が流れ込んだために、大気が不安定となり、落雷や突風、局地的な大雨に見舞われた。北陸・甲信地方では1時間に40ミリ前後の激しい雨が降った。この影響で富士山も雷雲が発生し、山頂から7合目にかけて雹より粒の細かい、3〜5ミリの「氷あられ」が降り、約3センチぐらい積もったため、うっすらと白くなり、ふもとの富士吉田市からは雪が積もったような珍しい景色が見られた。

猛暑が続く真夏に一時の涼しい景色であったが、それにしても今年は例年以上に異常気象状況が続いている。7月には長梅雨により各地で豪雨による被害が続出した。無人の地域気象観測システム(アメダス)の観測地を含めると、7月の月間降水量は全国の171地点で、7月の雨量としては観測史上最多であったことが気象庁の観測で分かった。また、日照時間も9地点(気象台、測候所のみ)で過去最短だった。「日照不足と長雨」は農作物ばかりでなく、市民生活にも否応なく影響を与え、「いつになったら雨が止んで、太陽が顔を出すのか」とやきもきさせた月であったが、一ヶ月間の降雨量は半端ではなかった。福島県の喜多方では609ミリ、長野県の伊那は598ミリ、京都府の間人(たいざ)は502ミリ、兵庫県県の香住で565ミリ、鹿児島県の大口では1519ミリなど、のきなみ平年の3倍を超えた所が続出した。

大雨による被害は朝鮮半島も同じで、北朝鮮では7月中旬に平安道、黄海道、江原道地域など中部を中心に集中豪雨に見舞われ、数百人〜数千人が行方不明となり、住居や農作物に甚大な被害が出た。北朝鮮は被害の大きさを内外に公表するとともに、8

山梨学院大学
経営情報学部教授
宮塚利雄

異常気象に脅かされる東アジア ——豪雨による洪水被害と 水不足による汚染被害が続出——

月9日には北朝鮮の南北共同宣言実践委員会は、韓国側委員会にファックスを送り、集中豪雨による被害をめぐり、復旧作業のための建設資材や食糧、毛布、医薬品などの支援を要請したという。韓国側委員会によると、北朝鮮側は韓国の民間団体による支援に謝意を表した上で、具体的に必要な品目として「ラーメンや衣料品より、復旧作業に実際に役に立つセメント、鋼材などの建設資材やトラックを始めとする建設装備」の支援を求めてきたのである。北朝鮮は7月5日に日本海側にスカッドやポドン、テポドンなどのミサイル7本を発射したが、このミサイルの代金は70数億円前後といわれている。ミサイルを打ち込む金があれば、韓国に支援など要求しなくても自国だけで復旧ができそうなものであるが、北朝鮮

の水害で筆者が思いだすのは、1995年7月に北朝鮮は未曾有の大洪水に見舞われ、農地はもとより鉱山や炭鉱、工場などが水没し、北朝鮮経済に致命的な打撃を与えたが、この時の降雨量がいかにすごいものであったかを、北朝鮮と中国の国境を流れる鴨緑江で目の当たりにしたことがあった。日本が1941年9月に完成させた水豊ダム(60万キロワットの発電量、琵琶湖の約半分の貯水量を持つといわれている)の堰堤からは、今にもダムが崩壊しかねないほどの大量の水が激しく流れ落ちており、ダムは満々とした水を貯えていたのである。

今、慢性的な「水不足」に悩まされているのが中国である。私の大学の中国人留学生が、「先生、山梨県は水に恵まれていて羨ましいです。水道の水も美味しいし」と言ったことがある。講義の中で「黄河の絶流現象」を説明した時のことである。黄河は長江(揚子江)に次ぐ中国第二の大河であるが、この黄河が水不足で「断流現象」を引き起こし、農地に水が来なくなり、水不足は河川の自浄能力をも奪い、河川の汚染が深刻となっている。黄河に垂れ流される重化学工業、有色金属工業、製糸業、エネルギー産業などの工業排水は1年間に39.9億トンで、この汚染による農産物の経済損失は1年間に33億元(1元は約14円)に達するという。黄河の水不足は、深刻な渇水、汚染、生態破壊を招き、ひいては人々の健康にも被害を及ぼしている。黄河の「断流現象」を目の当たりにしてきた中国人留学生の目には、「水に恵まれた山梨県」は羨ましい限りだという。それにひきかえ県民は「水の恩恵とありがたさ」をどこまで認識しているのだろうか。それにしても暑さが厳しい8月である。

「21世紀は心の時代です。競争から共生へと流れが変わってきた今、心なくして発展を望むことはできません。心ある経営、心ある社員教育を行ってこそ、生き抜いていくことができ、多くの方に受け入れられる企業になれるのだと思います」。

地球と子どもの未来に、
よりよい環境を遺したい

美容や健康、環境関連製品の研究開発、販売を展開している環境保全研究所は、1990年の設立時から「地球と子どもたちの未来を守るために、よりよい環境を遺していきたい」という思いで安心・安全な製品づくりに取り組んでいる。その思いを支えているのは西銘生義社長が掲げる相手が喜ぶことをする、また地域や社会に役立つことをするという「利他の心」であり、西銘社長は心身の浄化なくして地球環境の浄化は成し得ないと強調する。

同社の製品は「美」「健康」「環境」の3つをテーマに展開していて、「どれも私たちの住む地球の環境浄化

を目的にしている。頭髮化粧品「ビーワンシステム」はその代表的な製品で、パーマ液やカラー剤などの薬剤に混ぜると、その効果を活かしながら薬剤の使用量を1/2に減らすことができる。化学物質による体への影響はもちろん、パーマ液の排水による河川への環境負荷も軽減させることができ、現在全国の延べ12000サロンで導入されている。

また昨年開発したシルク含有光触媒の新素材「トリニティー」も、環境浄化はもちろん、健康や美容などに大きな効果が期待できる製品だ。可視光線でも有害物質などを短時間で分解、消臭、制菌できるというもので、室内の浄化(シックハウス対策等)やペットの補助食品、生ゴミの再生利



● 環境保全研究所 ●

1990年、環境浄化機器と健康器具の製造販売、農業、水産技術開発を目的に、北州市高根町に有限会社環境保全研究所を設立。97年、有限会社ビーワンの設立に参加し、同社と共同開発した「ビーワンシステム」の専用販売権を取得、販売を開始する。2002年、有限会社から株式会社に变更、リサイクル・プラント「トリニティー好循環システム」を建設し、新事業に着手する。03年には甲府商工会議所の第七回環境貢献表彰で好循環システムが環境大賞を受賞。06年、同町清里に新社屋を建設する。従業員15人

〒407-0301
山梨県北州市高根町清里 3545-5896
☎ 0551-48-5300



株式会社 環境保全研究所

用、光触媒塗料の開発など、多分野で製品化されていて、これからさらに大きな広がりが見込まれている。

毎日の積み重ねこそが、
地球環境の浄化へと繋がる

「ビーワンシステム」の開発、製品化から10年という節目の今年、同社は出発点であり、ともに歩んできた地である北州市高根町清里に新社屋を建設した。敷地内にはトリニティーを活用したリサイクル・プラントも設け、新たな環境浄化への取り組みを試みている。また地域の新しい特産品づくりとして烏骨鶏の飼育に取り組むなど、地域活性化プロジェクトも推進し、新たな一歩を踏み出した。

「9月には薬剤を1/2に削減するビーワンシステムをさらに進化させ、1/4に削減できる新製品を発売し、理美容業界における化学薬剤を低減することを可能にしました。しかし私たちの目的はそれで終わりではありません。家庭や社会からも化学物質を減らしていきたいと思っています。そのためには一般家庭でも容易に使えるビーワンやトリニティーを、より多くの方に知っていただき、日常生活で使っていただくことが環境を守り、次世代への責任を果たせることであると思います。毎日の生活の中の小さな積み重ねこそが、地球の環境浄化へと繋がっていくのです」。

何から始めたらいいかわからないという人も多い環境浄化だが、それは一人ひとりの小さな取り組みから始まる。西銘社長の環境保全への強い思いから開発された製品を通じて、その小さな取り組みは確かに広がってきており、それはやがて大きな力となるだろう。

屋上緑化

屋上緑化はさまざまな効果を発揮します

- 安らぎの場に、自然に人が集まります
- 芝生の上は涼しくなります
- 屋上に使うと室温が夏季で約3℃下がります
- 冷暖房費が下がります
- 子供が安心して遊べます

利用
例



屋上、ベランダなどに天然の芝や植物を植えてみませんか！
新築時はもちろんのこと、既存建物でも数日で緑化できます！

(株)早野組本社
プロジェクト本部の
屋上にモデル庭園を
つくりました。



お問い合わせは

(株)早野組 環境事業部 TEL: 055-225-2001 担当: 河西、宮野



株式会社 早野組

本社 ■ 〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10
TEL 055-235-1111 (代) FAX 055-235-1109
● ギニョーアル部 ● TEL 055-232-0200
東京支店 ■ 〒100-0835 東京都千代田区千代田2-5-24
TEL 042-657-8800 FAX 042-657-8497

中部支店 ■ 長野県松本市南千代田2-1-1
TEL 0265-122-3999 FAX 0265-2171
新中野支店 ■ 長野県松本市南千代田2-1-1
TEL 0265-122-3999 FAX 0265-2171
静岡支店 ■ 静岡県静岡市東区東5-1-7
TEL 0541-264-3900 FAX 264-2910
岐阜支店 ■ 岐阜県岐阜市南千代田1丁目12
TEL 0572-55-2534 FAX 55-0517
愛知支店 ■ 愛知県名古屋市千代田4-1-1
TEL 052-260-0107 FAX 260-0109

ISO14001 ISO 9001
認定取得

http://www.hayano.co.jp

サークル訪問

汗で育つ 感性が光る
街にめばえる文化探訪

多彩なマジックを研究し、披露している仲間

慰問活動を通じ、 多くの人に笑顔と夢を 届けたい

山梨マジッククラブ

年齢や言葉さえも関係なく、世界中どこでも通じ、見る人を笑顔にしよう。今回紹介するのは、そんなたくさんの魅力を持つマジックで、多くのお年寄りや子どもたちに夢や楽しみを届けている山梨マジッククラブのみなさん。60年以上前から活動している歴史あるサークルだ。

現在35人のメンバーで活動していて、毎月1回集まっては新しいマジックの勉強や研究を行っている。会長を務めている飯野桂さんはマジック

歴40年以上のベテランで、500種類以上のレパートリーがあるというが、「次から次へと新しいマジックが出てくるので、覚えることに限りはありません。見る人もそうですが、する方も楽しめるのがマジックのおもしろさですね」と心から楽しんでいる様子だ。

マジックとひと口に言っても、メンバーそれぞれに得意ジャンルがあり、内容は多彩だ。研究も熱心なマジッククラブの人気は高く、慰問や公演は毎年50回以上、多い年には100回以上に上る。

「介護施設への慰問や敬老会での余興、時には子どもたちを対象にしたマジック教室など、さまざまな場面に呼んでもらい、多くの方に楽しんでもらっています。拍手をもらった時はとてもうれしく、それがもっといいものを発表しようという次へのエネ

ルギーになるんです」と飯野会長。慰問や公演のほとんどはボランティアで、会場やお客さんに合わせて内容を練ったり、スケジュールを調整したりと苦労もあるが、それ以上に喜びやパワー、心の励みなど、多くのものを与えてもらっているという。

8年ほど前には、もっと多くの楽しみを提供したいと、南京玉すだれ甲州同好会と山梨ボランティア芸能クラブも立ち上げ、マジックとともに公演するなど、活動の幅を広げてきている。「多くの方に喜んでもらうのがみんなの生きがいです。各自が自分にしかできないマジックをさらに研究し、意外性や不思議さなど、マジックならではの楽しさをもっと追求していきたいですね」。そんな高い志を持っているマジッククラブは、これからも多くの人に夢や喜びを与え続けていくことだろう。



◆山梨マジッククラブ◆

戦後まもなく結成した歴史あるサークル。現在は50歳代から60歳代を中心に35人のメンバーが所属。練習は毎月1回、甲府市の遊亀公民館で行っていて、週末を中心に県内各地の介護施設や公民館などで披露している。

問い合わせ 飯野 桂 会長
連絡先 〒400-0827 甲府市蓬沢1-21-35
☎055(237)0724

この秋、結婚して4度目の転勤をすることになりました。場所は杜の都仙台。初めて訪れる街です。息子も3才半でありながら、山梨、大宮、浜松、そして仙台と渡り歩く、なかなかの「日本通」に成長しました。これまで住んできた浜松は、わずか1年の滞在でしたが、乗り物好きの息子につられて、飯田線、大井川線のSLを始め、しめくりは、鈴鹿サーキットで友人家族に誘われてロードレースに出場させるという、想い出深い経験ができました。

どこの転勤族も同じかもしれませんが、転勤が決まると本人の赴任は1週間後、家族は1ヵ月以内引越という段取りを組みます。その間に家を探し、会社では引き継ぎが行われる等、目のまわるような忙しさを迎えます。限られた時間と予算の中で、いかに新しい土地で快適に暮らすか。この時程自ら培ってきた価値観を問われるものはありません。

子供にとって、夫の仕事の面で、そして私の生活の中で、最大限快適な住まいの環境を見つけだす作業は、かなりのエネルギーを要します。しかし、ベストを尽くして住んだ土地は、その分愛着も湧くものです。これまでの住まいすべて、各々の土地に合う場所を選んできました。山梨では、湯村温泉郷に家を借り、毎日富士山やアルプスが見える暮らし。大宮では、盆栽の名所に住み、日本の庭園の美を味わいました。浜松では、浜名湖や海に連日通い、水を堪能する夏。

調査期間は三日前後という短い期間の中で、街行く人々の流れをカフェや美術館等で観察し、住まいを決め

～Seasons Yamanashi～

土地への礼儀

エッセイスト
深谷 百合苗

る旅は、ゆったり寛ぐ質とは一味も二味も異なる、独特の充実感があります。

晴れて住まいが決定すれば、土地の産物や地酒で乾杯。そして帰路へ。思えば山梨に転勤となった時、勝沼ぶどうの丘に連泊して、ワインを何種類も試飲しましたっけ。地元で採れる旬の産物、地酒、当たり前のように移り行く季節の変化等。地元にとっては全てなんということは無いものばかりかもしれません。

けれども、これらが自分の日常生活に取り込まれてゆく瞬間が私にとっても好きです。

山梨在住時、山梨の四季の移ろいや、自らの専門分野であるインテリアコーディネート、そして情報を、ホームページとして紹介してきたことがあります。このホームページが、どこの土地に移り住み、また、いろんな国籍の方と関わるようになってから、自己紹介の良き手段として活かされるようになりました。この夏は、とうとう浜松の友人親子を山梨案内する旅も実現でき、嬉しい限りです。

自ら住む場所を賢明に探した結果、移り住んだ街を心から愛し、土地のペースと共に住みこなす。去る時は、土地にお礼を言って別れる。これからもこうした経験を幾度か経験することでしょう。転勤族として、新しい土地に敬意を評しながら、出会う土地全てを愛し続けたいと感じています。



南アルプス市西吉田 くもの巢祭り

「くもの巢祭り」は毎年3月第1日曜日に、南アルプス市西吉田(旧櫛形町)にある寶泉院で行われるお祭りです。祭りの見どころは、祭りの仕方が大変独特であるということです。まず、子供、大人が大勢集まると、住職の御祈禱が始まります。それが終わると、参詣の人達や地区代

表の人達が太鼓を打ち、“ナムアマダーエ”の念仏を唱えます。お唱えは、段々声高に早くなっていき、最高潮に達すると、誰からともなく「ワー」という大きな叫び声が聞こえます。それが合図となり、皆一斉にくもの巢を取り合います。あつという間の出来事です。くもの巢は、災難除けとして家に持ち帰られ、家の戸口に飾られます。祭りは先祖代々受け継がれてきたもので、純朴では

ありますが文化財として価値のある
ものでもあります。

回
向
念
仏

1. なむあみだえ
なむあみだえー
えこうねんぶつ
なむあみだー
2. なむあみだえ
なむあみだえー
なむあみだんぶつ
なむあみだー
3. なむあみだえ
なむあみだえ
なむあみだえー
なむあみだー

ふるさとの祭り (10月～3月)

ちょっと行ってふるさと感じてください。
他にもたくさんの祭りがあります。

10月

○若宮八幡宮神楽	10月第1日曜日 南アルプス市古市場(旧甲西町)
○延命地藏祭	7日 笛吹市御坂町栗合
○金比羅祭	9日 笛吹市御坂町尾山
○定林寺双子塚祭典	9・10日 笛吹市八代町南
○身延山お会式	12日 身延町身延山久遠寺
○四尾連子安神社大祭	15日 市川三郷町山保

11月

○大鷲神社祭典(おとりさま)	11月酉の日 上野原市上野原新町
○高尾山の夜参り	11月第4日曜日 南アルプス市高尾(旧櫛形町)
○妙法寺御会式	23日 増穂町小室
○水石姓の大六天	28日 北杜市武川町柳沢

12月

○内船子供歌舞伎	12月第1日曜日 南部町内船
○星祭	12月冬至 笛吹市境川町小黒坂

☆開催日は事前に確認してください。

1月

○大念仏	4日 早川町京ヶ島
○大藤の籠馬	7日 塩山市大藤
○俵転がし	13日 上野原市上野原町鶴島駒門、南、西
○太鼓のり歌舞伎	14日 塩山市藤木
○敷島町下福沢の七副神	14・15日 甲斐市下福沢
○富沢の小正月	15日 南部町
○西南湖のしし舞	15日 南アルプス市西南湖(旧甲西町)

2月

○十日市場	10日 南アルプス市十日市場(旧若草町)
○秋葉講	11日 甲斐市竜王一区・二区
○厄除け地藏尊祭	14日 甲府市湯村3丁目
○佐久神社祭典	18日 甲府市下向山(旧中道町)

3月

○くもの巢祭り	3月第1日曜日 南アルプス市西吉田(旧櫛形町)
○湯立神事	10日 笛吹市御坂町下野原
○上八田諏訪神社大祭	17日 南アルプス市上八田(旧白根町)

INFORMATION

あなたの土地はだいじょうぶですか？ 土壌・地下水汚染は隠れた公害です！

近年“土壌・地下水汚染は健康被害を及ぼすもの”
としてクローズアップされています。こんな土地は
危険です。今すぐ診断をしてみませんか！！

有害物質の使用履歴あり
かつては
工場盛土履歴あり
焼却炉使用履歴あり
油タンク使用履歴あり

NO

法律上の調査義務はありませんが、土地売買ではリスク低減のため、買主等から調査を求められることがあります。

YES

土壌汚染対策法等に基づき、健康被害が予想される場合は、都道府県より調査命令があります。そうでない場合も、土地取引の際には、一般的に調査を求められます。

調査を検討してはいかがでしょうか。

土地の健康診断は、(株) 早野組 環境事業部へ
☎ 055- 225- 2001 担当：河西、宮野

(株) 早野組 本社：甲府市東光寺1-4-10 TEL055 - 235 - 1111
http://www.hayano.co.jp

EURO NETZ FAIR 開催中！！ヨーロッパのネットを体感しよう！



ネットトヨタ甲斐(株)
本社：甲府市朝気3丁目10 - 21 TEL055 - 232 - 5511

春休み入居 応援フェア開催中！！

同時
開催

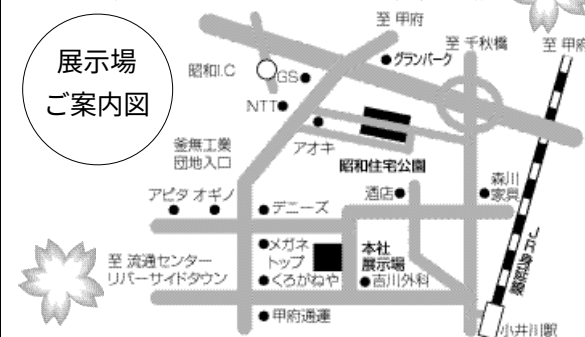
「Newアヴェンティーノ」
デビューキャンペーン

世界遺産
ツアー
プレゼント



気になる住宅総支払コスト！ 「今がチャンス」
そのワケは？

春休み入居をお考えの方
まずはトヨタホームの展示場へ！



トヨタホーム山梨(株)
本社：中巨摩郡昭和町河西1043 TEL055 - 275 - 1234 FAX055 - 275 - 7806
http://toyotahome.mediagalaxy.ne.jp/yamanashi

INFORMATION

今こそ転機を

物流業界は今、大きく揺れている。軽油価格が1リットル当たり4円、5円、6円と毎月のように値上がりし、運送会社の経営を圧迫している。適正運賃の収受に活路を見出したいが、なかなか難しい状況。走れば走る程、赤字を垂れ流す訳にはいかない。

大手物流会社はグローバル化の流れを受け、例えば日本通運と三菱商事が連合を組み、より効率的な物流システムを構築する動きがある。国内では大手、中堅特積会社15社の共同事業がスタートした。しかし中小規模の運送会社は一体、どうすべきか。資金繰りの良い運送会社は自社車両を増やし、経営基盤を固めている。またコス

トダウン一辺倒では無理。売り上げアップに向けて事業拡大するところもあるが、地域性が影響する。今後、国内貨物輸送量の伸びは期待できず、少子高齢化社会の到来で人手確保も困難になるが、伸びない市場であっても稼ぐために、再度あらゆる方策を視野に入れて事業の成長を図るべきだ。



甲府通運(株)
本社：中央市山之神流通団地3329 - 9 TEL055 - 273 - 0611

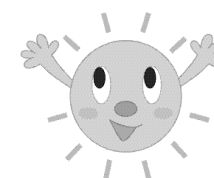
住むための優しさとやすらぎを提案します

道路・公園整備から景観整備まで、区画線等設置工事の他に、安全で快適に過ごせる環境づくりに力を入れています。人と自然を大切にしようと思った時、私たちに、お手伝いできることがあります。

太陽光発電システム



日本で日照時間が一番の山梨県。
太陽光発電システムで電気代を安く
しませんか！



<ご自宅の屋根が太陽光発電所>

コンクリート落書き対策塗装及びはく落防止対策塗装



道路・公園内のコンクリート構造物
への汚れ・落書き・張り紙を除去
し、快適な生活環境を提案致します。

<落書き・張り紙防止塗装施工中！>

(株)ロード 本社：甲府市下小河原町262番地 TEL055-241-6161(代)
FAX055-241-6118 e-mail uproad@pluto.plala.or.jp

営業キャンペーン実施中

9月より、「地域に広げようやさしい手の輪」をテーマに全国のやさしい手FC加盟店でキャンペーンを開催しています。全国91店舗の事業所で、ご利用される方の新たな確保に向け、サービスに力を入れて参ります。やさしい手甲府では各事業所が皆様のご満足にお応えするよう上位を目指して張り切っています。今後もさらに幅広いサービスをお届けすると共に新たな仕組みや企業づくりに取り組んで参ります。

甲府	☎055-255-6330	青沼	☎055-231-7007
国母	☎055-236-5151	富士見	☎055-220-3888
甲斐	☎055-260-7701	新アルプス	☎055-280-0230
荻崎	☎0551-20-5115	北社	☎0551-42-1213
山梨	☎0553-21-7330	甲州	☎0553-44-5160
笛吹	☎0553-20-5330	諏訪	☎0556-20-7330
吉田	☎0555-30-4441	八王子	☎042-669-0810

ヘルパーさん大募集



(株)やさしい手甲府
本部：甲府市朝日5-4-16 TEL055 - 255 - 6160
http://www.yasashiite-kofu.co.jp

子供のときから信玄の膝下に仕え
その薫陶を受けて育ち、見事に
成長をとげて名著『甲陽軍鑑』を著した人

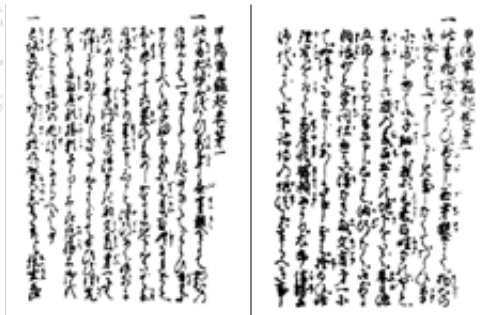
こうさか だんじょうまさのぶ 高坂弾正昌信

上野 晴朗

うえの はるお
1923年山梨市生まれ 歴史家・作家
県立図書館郷土資料室を経て67年から
文筆活動に入る 著書に「甲斐武田氏」
等多数



甲陽軍鑑 明暦版（筆者蔵）



甲陽軍鑑には二種類あって書付がれている
11行本(左) 10行本(右)



高坂弾正昌信

高坂は石和の大百姓春日大隅の子といわれ、大永7年(1527)に生まれたが、16歳のとき武田信玄に召し出され近習となり、初名を源助といった。ずいぶんと目をかけられ可愛がられたらしく、晴信から源助にあてた「誓詞の意趣は」という古文書が東大史料編纂所に残されている。出世も早く26歳で士隊将に拔擢され、春日弾正忠となり、信州小諸の城代から、弘治2年(1556)からは最も激戦の地といわれた川中島の海津城代になっているから、いかに信玄から篤い信頼を受けていたかが判る。

この海津城将のとき永禄年間に、信濃の名族香坂(高坂)氏の家跡をついで高坂弾正昌信と名乗るようになった。大変に心魂の優しい人柄で、且つ正直者。武田信玄を心から

慕っていたから天正4年(1576)4月、信玄の葬儀の日、周囲の人々がとめるのも聞かずに、その日剃髪して染衣の出家姿で葬列のお供をしている。またあの天正3年5月の長篠合戦の大敗のときには、高坂は一方では越後への防衛を固めつつ海津城にいたが、武田家の危機を知ると、自ら八千の兵を率いて信州駒場まで、傷心の武将勝頼を向かえに出向いている。

しかも惨敗の情報を早くも知らされていたから、主君勝頼の無惨な姿を故郷にさらすのを不憫と思い、持鎧から衣服の綺羅までととのえ用意してやって、敗惨の見苦しい姿を故郷に晒さないように配慮してやっている。

この人間的に温かみのある武将の畢生の大作が、武田信玄・勝頼の

ことを綴った、有名な『甲陽軍鑑』という書物である。ところが従来この書に対する評価も研究もまちまちで、偽書の代表と言い切る人さえある。たまたま一致している従来の評価というのは、軍鑑はこれを歴史史料として扱うには、あまりにも荒唐無稽で危険であるということ。しかもその成立は江戸時代の初期で、高坂弾正の僅かの手記を、春日惣二郎、小幡下野守などが書きつぎ、さらに軍学者小幡勘兵衛景憲が自分の甲州流軍学の意見をまじえて集大成したものという、すこぶる厳しい裁断がなされていた。

その偽書・疑わしいとされる代表は、なんといっても架空の烙印を押されてしまっていた山本勘助で、捏造された人物など、さも本物かの如く入れているから駄目なのだといっ

た評価であった。けれども私がこの金科玉条となっている疑書説に疑いをもち、これはまぎれもなく高坂弾正が書いたものと信ずるようになったのは、その山本勘助の實在に確証をもち、且つ信玄からその子勝頼への交替劇を視座にすえて探求するようになった、昭和40年代の末のことであった。

とくに足で歩いて実地検分して歩くのが、本当の歴史学と思い詰めるようになって、武領国の支城・出城・砦・狼煙台・軍道・関門・古戦場などくまなく歩きまわってみると、『甲陽軍鑑』が軍記物、偽書などとさげすまれながら、その実当時の戦国の歴史をまことに的確に把握していて精密である点に気付いたのである。そしてよくよく精読を続けると、この書は巷間伝えられているような、江戸時代の教条的な軍学書でもなく、また講談くさい戦記物でも軍談物でもない。

この書の真の狙いは、信玄にあくまで心服していた高坂弾正の心の記録であり、信玄の王道哲学を熟知していた高坂が、その王道哲学の具現をはかって、精一杯に信玄の経綸と思想、哲学を説いている心証風景の書だと気付いたのである。

高坂はこの書の起巻第一の“はしがき”に書いているが、この記録を書き始めたのは、あの敗北を喫した天正3年の長篠合戦の直後からであった。かつて勇猛を馳せた武田軍団が崩壊してしまったような焦燥感といらだちを覚える中で、勝頼の継嗣問題と長篠の敗戦の原因が、すべて勝頼に適当におもねり、権力だけを振るう長坂閑閑齋と跡部大炊助に

あるものと見極めをつけて、二人の慢心者へ向かって筆誅の叫びを上げたのである。

もちろん正直者の高坂は、自らも「高坂弾正、にげ弾正」と厳しく自嘲し、自己批判をしているけれども、しかし書の冒頭に「昔の衆は皆長篠



高坂弾正の墓 信州松代町豊栄 明徳寺

にて討死して、拙くも我等と式斗残る也。明日にも相果候はゞ、悉皆は長坂長閑・跡部大炊二人の内より外、誰とても無之…」といった切羽詰まった心境で書き出しており、しかも自分の死期を予感して、「…むなしく相果給はんと涙をながす斗なり」と悲痛に結んでいるのである。

その心の推移を追うと、あの荒々しい戦国の世の国盗りの物語を描き、目くるめく展開する武勇と戦術を織りまぜた日本の軍記・戦記物のお手本のような体裁をとりながらも、そこに激しい怒りをぶつけているのは、どこまでも異端者への自重の叫

びである。いや単なる慢心者への筆誅という単純なものではない。品第一にまず『甲州法度の次第』を据え、信玄のつくったその式を守り、信奉するその信玄の心を体して痛烈な心の叫びとなっている点が、江戸初期の平和の時代になって作られた他の戦記物、軍記物などとその質が完全に違うのである。

それは親鸞の弟子唯円が、異安心の者達に対して真宗の安心と正義を説いて、『歎異抄』を綴ったように、「信心のことなることなからんために、泣く泣く筆をそめてこれをする」と述べているその心境に、高坂の軍鑑に託した気持はあまりにもよく似ているのである。

私はそれを悟って以来、『甲陽軍鑑』を歎異の書と呼ぶようになった。つまり信仰的な内面の心を吐露した書物であり、その意味では戦国の世に生まれた類まれな記録文字のように思えたし、同時に叙事詩であるように思えたのである。

高坂弾正はこの書を書きながら、予感通り天正6年(1578)5月7日海津城で永眠した。墓は長野県松代町豊栄の明徳寺にある。墓のそばにある碑文を見ると、天保14年(1586)5月に建てられているが、『甲陽軍鑑』に感銘し、高坂を慕ってわざわざ参拝に訪れる者も多く、中には墓域に入るのに、羽織をとり、わらじを脱ぎ、素足になって落涙しながら跪拝する者も見られたとある。また墓石を見ると削り取られた跡がいっぱいある。人格を慕ってお守りに持ち帰るのであろう。

今更のようにその人徳に頭が下がる思いである。

人気の南アルプス市 ガイドブック

山梨県立博物館のミュージアムショップで一番の売れ行きを見せているのは、「甲府城ガイドブック」を含めた武田信玄関連ガイドブックと甲府城下のガイドブックの数々ですが、その次に人気があるのが南アルプス市のガイドブックです。

毎年実施している「南アルプス市ふるさと再見ツアー」からは、おかげさまですでに5冊のガイドブックが生まれていますが、今回はその中の一つ、小笠原宿ガイドブックの中からいくつかのエピソードを紹介してみます。

当時、生涯学習課におられた廣瀬和弘さんは実に興味深い方で、文化財的な話題はもちろんですが、ボクたちがいつもさがしている「昭和」のエピソードもいろいろと探し出してくれました。このツアーは旧櫛形町役場からスタートして町内をぐりと回って小笠原橋を渡り、「中央座」＋「魚よしカフェー」に向かうというルートでしたが、この最後の場所でちょっとした出し物が待っているという仕掛けになっていました。

事前の取材で廣瀬さんとなぐスタッフが「発見」した一枚の写真から、この企画はスタートしました。その写真を見てみてください。いい味の写真でしょう？昭和初期にこの建物で「魚よしカフェー(写真ののれんの表記のまま)」が営まれていました。お店の前にずらりと並んでいるのが店主と女給さんたち。店主の足下にいるのは狩猟犬のようです。

店先のメニュー看板には、カツレ

小笠原にあった中央座と魚よしカフェー

山本育夫

ボクのやまなしファイルドミュージアム

02

ツ、オムレツ、ライスカレーなどといったカタカナ文字のしゃれたメニューと並んで、刺身やお寿司、親子丼や開花丼などの和風メニューも並んでいます。

ももとは魚よしさんという、お寿司を中心とした料理屋さんだったお店に、モダンな「カフェー」を併設しようと考えたのは、一番左に立っている紋付き袴姿の店主だったでしょう。

現存する木造建築

驚いたことにこの建物が、現在もそのままの姿で残っていました。ボクらはその堂々たる姿に(少し傾いてはいましたが)息をのんだのです。すばらしい。誰か人が住んでいるのだろうか？外から声をかけると中から返事があり、今も店主の息子さん夫婦が住んでいることがわかりました。

このハイカラな魚よしカフェーの経営者が、実はこの建物の裏手に劇場(やがて映画館)も経営していたというのでボクらはさらに驚くこととなりました。しかも、今でも上映用の映写機がそのまま残っているというではありませんか。早速裏手に回り「中央座」を拝見することになりました。

中央座は最初は劇場、あとは映画館として昭和30年代まで元気に活躍していたといいます。峡西地域の中心地として栄えていた小笠原には、当時3つの映画館があったそうで、中央座は昭和6年の創業。店主の息子さんは当時の様子を実に鮮やかに記憶しておりました。

今では椅子席が取り払われてい

てがらんとした空間だけが残っている映画館ですが、よく見ると入り口付近にはチケット売場のたたずまいが残っているし、部屋の正面には立派なステージが残っています。さらに二階に上がると確かに年代物の映写機がどんと置かれていました。

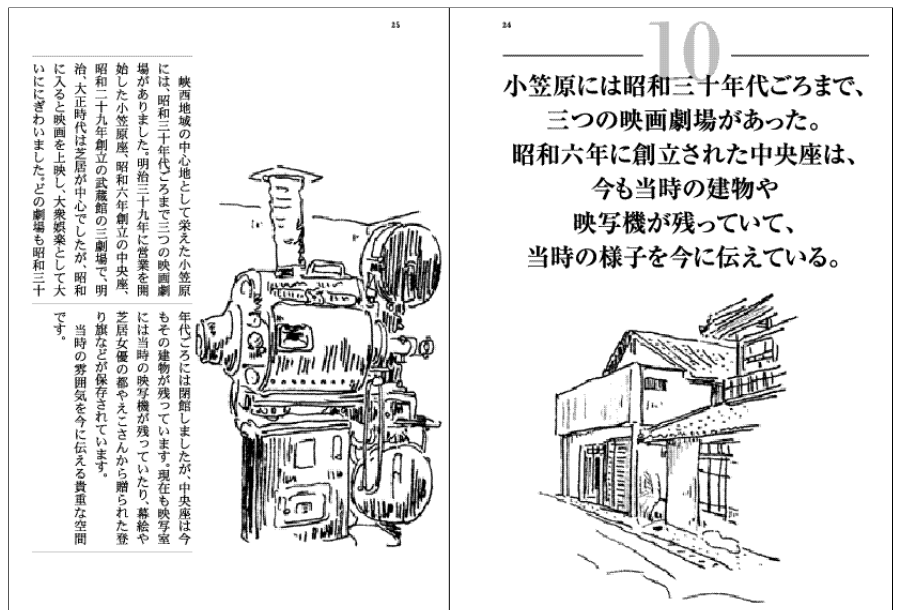
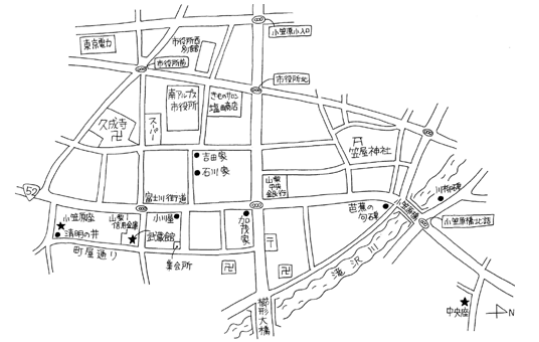
そのうちに店主の息子さんは、どこやらから大きな幕絵をもってきました。劇場として使用していた当時の幕絵が残っていたのです。加えて当時人気の芝居女優の都やえこさんから贈られたという登り旗もあることがわかりました。

廣瀬さんとボクは、ここを復元してツアーの最後にみなさんに見ていただこう、とそのとき深く決意したのです。

懐かしい映画館が復活

ツアー当日、元映画館であった中央座はボくらのお掃除大作戦と懐かしい映画ポスター展示、幕絵の復元、ライティングなどにより、往時の姿を見事によみがえらせていました。どこからか懐かしい当時の音楽も聞こえてきます。

ツアーの参加者は100名を超える勢いで、映画館は往時の賑わいを見せています。そこに、青いジャケットに黒のズボンをはいた店主の息子さんがさっそうと登場して、往時のままの司会のスタイルで話し始めました。よく見ると顔に化粧もしております。とても85歳には見えない若々しさ、その生き生きとしたしゃべりに、会場から盛大な拍手が起こったことは言うまでもありませんでした。



昇仙峡には、江戸時代から甲府城の学者達も出かけ、中国の山水画のようだと言え、滝や奇岩に「仙娥滝」「覚円峰」などの名前を付け、漢詩を作ったという。その頃の呼び名は「御獄新道」で、「昇仙峡」の名前が一般化したのは明治二十年以降というが、名付け親はわからない。

観光地として全国に知られるようになったのは、明治三十六年に鉄道が開通してからで、東京から片道六時間と、身近な秘境となった。さっそく訪れた文士には、「不如帰」の徳富蘆花、歌人の正岡子規がいる。子規は昇仙峡に感動し「日光以上」「耶馬溪以上」「汽車賃一円二四銭で往かれる」と、長塚節に手紙を書いた。

「日本一の溪谷美」

昇仙峡の魅力にせまる

龍之介も晶子・鉄幹も

松本清張も感嘆した

こんなところに山梨
思いがけない場面で
ふるさと再発見

明治四十一年には第一高等学校の学生だった芥川龍之介が、奥多摩から徒歩で塩山、甲府とたどり、昇仙峡を訪ねている。大正になると昇仙峡の評判はさらに高まり、十一年には後の昭和天皇が来県し、徒歩で和田峠を越え、昇仙峡を訪れている。覚円峰の下、金溪館で休み、記者団に

「耶馬溪を遙かにしのぐ」と語った。

翌年、昇仙峡は、国の名勝指定となった。難工事の長潭橋が完成したのは大正十四年のことである。さらに、昭和二年には「東京日日新聞」の「新日本八景」に入選し、詩人の野口雨情が来県、中山晋平作曲の民謡「甲州音頭」が発表された。

与謝野晶子・鉄幹夫妻が訪れたのは、昭和八年十月で、長潭橋から散策し、仙娥滝上の旅館に一泊、三十一首の歌を詠んでいる。昭和二十八年には国の特別名勝に指定され、毎日新聞社主催「全国名勝地百選・溪谷の部」で第一位になった。

昇仙峡を舞台にした小説には、松本清張「ゼロの焦点」「地方紙を読む女」、笹沢佐保「人喰い」、西村京太郎「恐怖の清流 昇仙峡殺人事件」津村秀介「昇仙峡殺人事件」などがある。

(春)

〈ご紹介した本〉

「甲府文芸講座マガジン・昇仙峡に魅せられた人たち」福岡哲司氏の講演録より

県内歌壇の礎を築いた
「山梨の歌人たち」
中沢玉恵 著



県内で指導的な役割をつとめ、後世に多くの影響を与えてきた歌人十一人について、書かれている。「みぎわ」主宰の上野久雄は「序」で「現代県下には七つの結社誌があり、およそ三千とも四千ともいわれる実作者が短歌を学んでいて、その動向は活気にみちている。これは近代から現代への時代時代を宮々として継承し発展に力を注いで来た先輩たちの存在なくしては考えられないことであつただろう。」「しかるべく先輩歌人たちの遺した貴重な業績を顕彰して称え、それに学ぶべきは後輩として真に当然のことである。小誌『みぎわ』創刊の折に一つの文学運動として、私がこの『山梨の歌人たち』の出版を期した所以である。」と記している。

ここに若い世代にとっては、希望の書である。

発行／山梨日日新聞社 本体1200円＋税

お茶の間の民俗学

愛されて郷土に伝承される芸能を紹介

やまなし・ふるさとの歌と芸能をたずねて

大月市猿橋町の幡野地区にある八幡神社のお開帳の祭りは、十二年に一度戌の年に行われる。猿橋駅から車だと二〇分くらい、有名な猿橋の近くを、国道から幡野への山道に入る。この道は古く、さらに峠を越えれば都留市に通じる道で、この道に沿っていろいろな集落がある。

祭りの流れを紹介すると次のようなものである。まず五月一日の「お上がり」は、午前中氏子総代、各地区の三役、祭り世話役などによるお祓いが行われ、祭りの準備が始まる。午後五時に山宮に上がるために幡野地区の御輿とそれを担ぐ人々が集合し、三〇分ほどかけて甲弓山の山宮のお堂に上がる。ここで宮番が玉串を奉天して「お上がり」は終了する。

二日の「奉幣祭」は午前十一時にお堂に集合し、奉幣祭をおこない「なおりい」がある。

三日は「お下り」が午前十時、

幡野八幡神社お開帳の祭り(一)

劇作家 水木 亮



新緑の中を山宮にあがる御輿

広場に各地区、小沢、朝日小沢、小倉、津成、太田、久保の御輿が集合する。十二時の花火を合図にそれらの各地区の御輿が山宮に上がる。山の頂上の山宮までは急な坂道で御輿を上げるのはなかなか大変だ。一時間くらいかけてようやく到着する。午後二時から今度は各地区の神楽が奉納され、五時に御輿は山を下りる、夜の九時に花火があり、八幡神社の神楽が舞われる。

四日は総ての片付けをして、十二時に公民館で勘定酒をして

解散となる。以上が祭りの流れである。

第一のこの祭りの感想は、肝心の御輿の担ぎ手がそれにふさわしい男達によって行われていることである。最近県内ではこの祭りも御輿を担ぐ若い人が居ないために、人力をリヤカーや軽トラで代用するところが増えている。正装をした神官が神妙な顔をして軽トラの助手席に鎮座したり、御輿を乗せたりリヤカーのあとを付いて歩く姿は、まことに味気なく様にならず、人間が担がない御輿などやらない方がいい。

幡野八幡神社お開帳の祭りの素晴らしさは、なんと言っても五月三日に行われる御輿の山宮への「お下り」である。午前十一時に到着した私は、広場にすでに五つの御輿と、それぞれの地区の染め抜いた法被姿の三百人ぐらいの人々が、元気に集まっているのを見た。



ガスに巻かれる甲武信ヶ岳 (木賊山西面にて)

深い谷底の上に映える紅葉甲武信ヶ岳西面にて

甲武信ヶ岳山頂から見る夜明けの富士山

西沢溪谷入口の駐車場から出発する。西沢溪谷への林道を進み、閉鎖中の西沢山荘前の広場から戸渡尾根下部の徳ちゃん新道を登る。しばらくは平らなカラマツ林の中だが、やがて道は急坂となる。傾斜が増して岩混じりのやせ尾根となってくると、右から近丸新道が合流する一八六九地点だ。



【参考タイム】
西沢溪谷駐車場
↓(2.5分)
戸渡尾根取り付き点
↓(2時間)
1869m地点
↓(2時間)
木賊山
↓(1.0分)
甲武信小屋。
小屋から甲武信岳
↓(往復3.0分)
往路の下山
(3時間1.0分)

名前のとおり、甲州、武州、信州の三国にまたがる山である。奥秩父主脈の中の一峰だが、いかつい名前の割には山容はおとなしい。北東面は山頂まで樹林に覆われているが、西面には国師ヶ岳、金峰山、八ヶ岳方面の展望があり、南面には甲府盆地東部を隔てた富士山の素晴らしい眺めがある。

シラビソの針葉樹林帯となる。急登に喘ぎ、鶏冠谷源頭のカレ場を過ぎて尾根を巻くように行くと主脈縦走路に出る。左に折れてしばらく進むと、展望の無い木賊山山頂に着く。

今回は縦16センチ、横24センチの和紙に刷られた広告をとりあげる(図参照)。表題は「中馬定便通送賃金表」とある。以下読んでみると

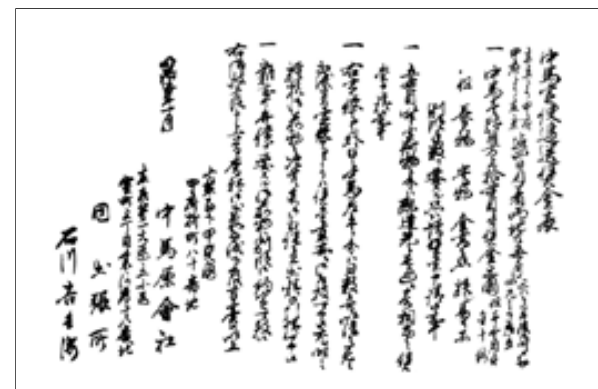
東京と甲府の間は四日で荷物が到着、毎月三と八のつく日の月6回午後九時に受付を以切り、翌日にそれぞれ荷物を送り出す。一疋の馬に付ける荷物は30貫(約120kg)で代金は一貫目につき10銭の割で3円、その他重量は30貫以下でも長さのあるものや大きなもの、また貴重品などは割増料金とする。一箇が5貫目(約20kg)以下の小荷物については配達宛先の距離で決める。以上定期に出る便の他に特別に荷物を出す場合には五日以上日がかかっても良いとする(定期便は四日)。ときには割引料金で取扱う。事故に逢った時に弁償しなければならぬ荷物については特別の契約をいたします。以上お知らせいたしますので当社に荷物を取り扱いさせて下さい。

以上がこの広告文の大意である。時は明治九年(一八七〇)一月、この二年前の明治七年に富士川運輸会社が設立され、甲府市内には梁木・琢美の両小学校が開校されている。

甲州・信州で活躍した中馬陸運会社に対抗して会社設立

林 陽一郎

はやし よういちろう
甲府市教育委員会文化振興指導員
山梨郷土研究会



この広告主は甲府柳町八十番地の中馬原会社、中馬とは幕末時代甲州や信州の農村の人達が自宅で飼っている農耕馬が、冬の田の仕事をないときに自分の生産物(主に木製品やワラ製品)や近所の頼まれ物などを運搬したことからはじまったもので、特に富士川舟運が盛んになると、海からの塩が鯨沢まで舟で運ばれ、それから甲州や信州の内陸地方へはこの中馬と呼ばれる馬によって運送されたことから中馬は有名になった。

日本の主街道には宿場が設けられ、人足や馬が配備され、それを利用する人達は代金を払って人足や馬を利用することとなっており、原則として一宿場から次の宿場までしか使えず、次の宿場に着くとその宿場の人馬を借り上げることとなっていた。ところが中馬の場合には、原則として自分の馬を使って物を運送することから、宿場ごとに人馬を付け変えずに目的地ま

で行けるという特点があり、各街道の宿場と問題を起したことが、明治維新まで続けられたのである。明治になつて各街道の宿駅は廃止され、新たにその宿駅ごとに陸運会社が設立された。新しい会社となったが旧体のままの姿で日常業務を行つたために、各地で問題が起き、明治政府はこの各宿場の陸運会社を廃止し、徳川時代の定飛脚屋を主体とした陸運元会社を設立してこれに参加させたのである。新会社となつても旧幕時代と同じく宿場ごとに人足や馬を替えなければならぬ面倒さがあつた。ここに目をつけたのがこの中馬である。

個人の運送は認められなかったのに、甲州と信州の中馬関係者が設立したのがこの中馬原会社である。原は陸運元会社の元と同じく、原は本店の意味があつた。甲州道中や身延道などの主街道の他に佐久街道や若彦路など脇街道的な沿線で活躍している。

現在も地方に行くと中馬会社の看板や「会社」と呼ばれる家があるのはこの中馬会社の名残であるが、陸運会社が内国通運株式会社となると合併吸収されてしまつ



今回訪れたのは、「介護老人保健施設 玉穂ケアセンター」。ゴミひとつ落ちていないエントランスや手入れのされた中庭。清潔感のある鉄筋の建物は温かみのある壁色で統一され、優しさを感じさせる。

介護福祉施設との大きなちがいは、中間施設としての役割を担っている事。入院を終え、退院したものの日常生活に不安を感じる人や一時的に日常生活が送れなくなった人のリハビリテーションを行う。また、軽度の認知症の方を対象にした共同生活を補助し、自立した生活の回復を目指すグループホームとしての介護サービスも行っている。長期入所から短期入所、通所リハビリテーションなど幅広く対応している機能訓練施設。

通所リハビリでは、朝8時半から各コース毎に、スタッフが利用者の方の希望の時間に合わせ、お迎えに行く。ここでは、片道30分を目安として、甲府・玉穂・田富・豊富の約10キロ範囲をエリアとしている。これは、利用者の方の負担を考えた上で範囲設定となっている。

ここで、多いに活躍しているのが介護車。用途は様々で車イスの方の利用も多く、その都度車の車種を使い分けている。

「レジアスエースバンは車イス2台と他5名が乗車しても狭さを感じませんよ」とスタッフが話してくれた。「女性のヘルパーさんの評判が高いのはファンカーゴですね。運転しやす



いし、小回りも利くし」。「対応の幅が広いのはノアですよ。歩行可能な利用者の方でも車イスの方でも、その日によって使い分けています」。どうやら、それぞれのスタッフにとって、車は大切なパートナーとなっているようだ。

ここでは、季節によってさまざまなイベントが催され、お花見やピクニックにも出かける。また、外食の日には、みんなでファミリーレストランに行き、思い思いの食事を楽しむ。これも、機能回復するための大切な訓練のひとつ。利用者の方が楽しみながらサービスを受ける事ができるようにと、施設側の工夫のひとつ。「出かける時は、皆さん楽しみにしてて、希望者を募ると全員の方が参加してくれるんですよ」と語るスタッフの明るい笑顔が印象的。

通所の忙しい送迎業務だけではなく、ゆったりと参加出来るイベント行事にも大活躍の介護車。これからも、ますます活躍の場を広げて行くことになるだろう。

◆ Data ◆

医療法人 正寿会
介護老人保健施設 玉穂ケアセンター
山梨県中央市乙黒247-1
TEL 055-273-7331 FAX 055-273-7360

石和温泉郷に程近い静かな住宅街の一角にある清水さんのお宅は、落ち着いたグレーのタイル張りの外壁が目玉の「シンセ・レゾン-S」。玄関を入るとまず目に入る壁いっぱいには飾られた大きな風景画をはじめ、随所に飾られた絵画や美術品など、こだわりの感じられるお宅だ。

「夫婦2人の家なので、とにかく好きなものに囲まれながら、のんびりと落ち着いて暮らしたいと思いました」と奥様。

「それに最近は地震が多いですね。ゆっくりと暮らすにはまず地震に強い家でなくてはと思い、建て替えました」とご主人。そこで選んだのがトヨタホームだったという。

年を重ねていくこれからの生活を考え、廊下も各居室の出入口も広くしたバリアフリーの室内は、フローリングや建具などをダークトーンでまとめ、落ち着いた雰囲気仕上げています。あえてごんまりとした空間にしたというLDKは、リビングのソファに座りながら、キッチンに立つ奥様との会話も十分に楽しめる広さ。



壁面の棚には、ご主人が趣味で集めた紅珊瑚の香炉や中国の壺などが並び、窓からは立派な松の木を望むことができ、まさに好きなものに囲まれたくつろぎの空間が実現した。

さらにお風呂はこの地域ならではの温泉で、「仕事から帰って、我が家の温泉でゆっくりするのが楽しみなんです」とご主人のお気に入り。手足をいっばいに伸ばして入れる湯船から眺める窓の外には、坪庭も見えるこだわりの設計だ。

「本当に安心して、のんびりと自分たちの時間を楽しめる理想の住まいができました。いろんな提案をしてくれ、何度も相談にのってくれた担当の方のおかげです」と満足そうに話す清水さんご夫妻。この住まい同様、とても優しく穏やかな笑顔が印象的だった。



コミュニケーションが 何より大切

今回訪れたのは、県立中央病院
近くの『株式会社 やさしい手 甲府』
富士見事業所勤務の清水しをりさん。
ドアを開けると、スタッフさんとヘル
パーさんの元気な挨拶と明るい
笑顔が出迎えてくれた。

『株式会社 やさしい手 甲府』は、
高齢者の方を対象に住み慣れた地
域で、ご家族と共に安心した生活が
送れるように、総合的な在宅介護サ
ービスの事業を行っている。場所が
ら富士見事業所では、病院の通院
のお手伝いも多い。清水さんは、ス
タッフとヘルパーさん、合わせて50
名のリーダーとなり、利用者本人は
もちろん、ご家族とヘルパーさんの
大切な架け橋となっている。

富士見事業所では、とにかくヘル
パーさんとスタッフの密なコミュニ
ケーションを大切にしている。利用
者からのリクエストやヘルパーさん
の抱える問題など、どんな些細な事



株式会社 やさしい手 甲府
在宅事業部 富士見事業所
清水 しをりさん (甲府市)

でも、清水さんが丁寧に相談にのり
迅速に対応していく。まさに、富士
見事業所の要である。

サービス内容はさまざま、掃除
や洗濯、食事の支度や病院の通院
のお手伝いなど、日常的な細かい作
業から、入浴のサービスなどヘルパ
ーさんの行うサービスの内容はかなり
忙しい。

さらに、利用者の方については細
かい好みや症状など、マニュアルに
全て記載され、誰が担当しても、サ
ービスがスムーズに不安なく行える
ように徹底して管理されている。

前向きな… 介護サービスの向上。

「お子さんたちと離れて暮らす方
も増え、高齢者のご夫婦や一人暮

らしの方など、利用者の数はますま
す増えていくと思います。私たちが
密にご家族と連絡をとる事で、離れ
て暮らす不安感を取り除き、利用者
ご本人も安心して暮らして頂けると
思います」。

富士見事業所では、現在 133 人の
利用者がいる。口コミでの評判が
一番の信頼であると言う清水さん。

「いろいろな方がいらしてね。最
初は抵抗ある方も、だんだんと心を
開いて下さって、ありがとう、と言
って頂けた時のうれしさは言葉に出来
ないですよ」と語ってくれた。

これからも、明るく元気な笑顔で
サービス向上に努めていきたいと
語るその笑顔から、たくさんの経験
と事業所一丸となって介護サービス
の向上に努めてきた高い信頼が伺
える。

利用者の方からの信頼が全て 真心が通じる介護サービスを。



介護保険ABC — 介護予防 —



介護予防サービスとは

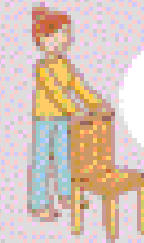
介護予防とは、介護保険制度の基本理念にもあるように、「できる限り自立した生活を送れる
ように支えること」即ち「自立支援」を推進し、介護が必要な状態にならないように、また
介護を受けている状態を悪化させずに、できる限り元気でイキイキとした生活を送れるよ
うにすることです。

生活不活発、運動機能低下……体を動かさない生活が続いていると、体力が落ちて外出が大変に思
える、など体のいろいろな機能が落ちてしまうことです。最終的には寝たきりになってしまいます。



いつまでもイキイキ生活 イキイキとした生活を送るためには、毎日少しずつ運動を続けることが大切です。

一例です



手や腕に力を
入れず、リラックス
して立ちまわろう。



声を出して
動きを数えながら
体を動かしましょう。

両足を肩幅に開き、テーブルや椅子などを
両手でつかんでまっすぐに立ちます。

1.2.3.4でひざを軽く曲げ、1.2.3.4でゆっくりと
伸ばし、元の状態に戻してこれを10回繰り返します。

※ 注 意 ※
①ゆったりとした気持ちで、
②呼吸を止めないでゆっくりと
行う。③動かしている
筋肉を意識する。④体に適
応があるときは無理をし
ない。

しっかり食べて栄養管理

高齢者の食事には肉・乳製品が不足がちなです。70歳を過ぎてから、肉・乳製品をたくさん食
べるとイキイキとした生活を送ることが出来ます。栄養状態が悪くなると、風邪をひきや
すくなるほか、心臓病などの慢性的な病気にもかかりやすくなります。

- ①食事は1日3回、バランスよく
- ②食欲がない時は、おかずを先に食べよう
- ③肉と魚は1:1
- ④味噌汁をちゃんと喝ろう
- ⑤牛乳を毎日コップ1杯
- ⑥野菜は欠かしてたくさん食べよう



介護予防のポイントは、本人の積極的な参加

介護予防は、いつまでに、どのような生活行動ができるようになるのか、具体的な目標を立て、本人が積極的に生活機能の向上に取り組むことを目指しています。そして介護予防システムを生かすには、まず本人が自分の状況を把握し、自覚と目標をもって参加することが求められています。

高齢者交流施設 “安心ギャラリー”



安心ギャラリーは、甲府県工務局が主体となり、甲府市の中心市街地活性化事
業として設立されました。高齢者やご家族、買い物中のの方々のためのオアシス
として、ゆっくりくつろげる場所となっています。また、毎月楽しいイベントが開催
されています。お気軽にお立ち寄りください。

安心ギャラリー 甲府市中央4-3-14
☎055-231-6632
<http://www.y-anshin.jp/>

介護保険に関するご相談は TEL 055 (255) 6160



在宅介護
やさしい手

<http://www.yasashii-te.co.jp>

正統派フレンチと ブライダルとの融合

French restaurant La cour



昭和バイパスにひととき目立つ
センスの良い佇まいを見せる建物
手入れの行き届いたガーデンと雰
囲気のある内装デザイン。テール
につく前
に、お店
のコンセ
プトの高
さを感じ
られる。
特別な
日に訪れ
たい、と
ておきの

場所、そんな気持ちを充分に満足
させてくれるフレンチレストラン。
料理は季節の食材を使い、シェフが
仕立てるフルコースとなっている。
さらに隣接して、ブライダルコ
ーディネートのライフイノベーション
ザ・エレンとギフトショップポエム
が併設。「ラ・クール」はレストラン
ウエディングとしても利用できる
大切な施設となっている。
お決まりのウエディングスタイル
とはちがう、オリジナルウエディ
ング。引き出物のご相談から、式の
進行やドレスのコーディネート。通



□ライフイノベーションザ・エレン
所在地 昭和町飯喰 457-5
TEL 055-268-1661
営業時間 11:00 ~ 20:00
□ギフトショップぽえむ
所在地 南アルプス市沢登 967-2
TEL 055-284-1241
営業時間 11:00 ~ 19:00
□フレンチレストラン ラ・クール
所在地 昭和町飯喰 413-1
[レストラン] TEL 055-268-0660
営業時間 18:00 ~ 22:00
[ブライダル] TEL 055-268-0511
営業時間 13:00 ~ 20:00



アルペン フィットネスクラブ甲府

心と体を癒していく
新しいスタイルを提案



今年六月にスポーツデポの隣
にオープンしたアルペンフィット
ネスクラブ甲府は、アルペンが経
営するフィットネスクラブの第一
号店。体力づくりとともに、心
と体を癒
していく
新しいス
タイルの
フィットネ
スを提案
する最新
のフィット
ネスクラ
ブだ。

広々とし
た施設内
は、1階は
ジムマシ
ンエリア
やスタジ
オ、2階
はアクア
エリアな
どがあり
、3階に
は天然温
泉と、本
格派エ
ステなど
が楽しめる
リラクゼ
ーション
スペース
も設けて
いる。ピ
ラティスマ
シンによ
る次世代
エクササ
イズがで
きるクラ
ビリティ
など最
新設備が
充実して
いて、ヨ
ーガ



「施設見学会も随時開催してい
るので、気軽にお越しください」
とマネージャ
ーの杉山
さん。この
最新の施
設で気持ち
いい汗を流
してみては

営業時間 月曜～土曜・祝日
10:00 ~ 24:00
日 曜
10:00 ~ 20:00
定休日 木曜日
所在地 甲府市上阿原町 345-1
TEL 055-233-3736



某月某日

「愛国心」と「愛社精神」

×月×日

最近「愛国心」という言葉が独り歩きしてい
る。いわく「愛国心を持った若者が少なくなっ
た」とか「憲法に国を愛するという表現が無い
のはおかしい…」とか。そのことには恐怖にも
似た違和感を感じている。私は左翼思想の持
ち主でもないし、まして先の大戦中の「愛国教
育」で辛酸をなめた世代でもない。しかし何故か
「国を愛せよ」と命令されると気持ちが悪い。

これはもう古典となってしまっているのかも
しれないが、明治26年(1892)に内村鑑三は
『基督信徒の慰め』の中で以下のように書いて
いる。

「如何にして愛国心を養成すべきや」とは余輩
が暫々耳にする問題なり、曰く国民的の文学を
教ゆべしと、曰く国歌を唱へしむべしと、しか
れども人若し普通の発達を為せば彼に心情の
発達するが如く、愛国心も自然と発達するもの
なり、義務として愛国を呼称するの国民は愛国
心を失いつつある国民なり、考を称する子は孝
子にあらざるなり、…(後略)

これを読むと彼の生涯や、後の日本の走って
いった軌跡が現在に映し出されてくる。暗澹と
した気持ちになる。では何故、今この現在「愛
国心」が叫ばれるのだろうか？

レポートとインターネット

×月×日

ここ5年ほど前から、学生さんのレポートに
インターネットのコピーが増えてきた。ここで言
うコピーとは、書き写しといったレベルのもの
ではなく、パソコンを少しかじったことのある
者ならすぐ分かる「ドラッグ・アンド・ドロップ」
のレベルの正に機械的なコピーである。レポート
を評価するプロとして(悲しい表現だが)これ
は決して許してはいけないと思っているので、
レポートの出来の良し悪しに係わらず、必ず注
意することになっている。そこでのやり取りである。
杉：「ここからここまでは、べたコピー。この部
分は自分のコメント、それにしてもコピーの部分
が多すぎる！こんなものでは受け取れない！」

学生A：「先生よく分かりますね」
杉：「当たり前です(ちょっと自慢げ)！こちらは
今まで何千というレポートを読んでいるのです。
どんなに巧妙に細工してもばれます。どのウェ
ブ・サイトか調べてみましょうか？」
学生A：「いいえ結構です。でもレポート自体
の出来はどうなんですか？例えばB子さんの物

実は、彼らの求めているものは「忠誠心(Lo
yalty)」なのである。例えば「愛社精神」を英
語に翻訳しようとするならば、100%一致しな
いまでも、Loyaltyがほぼ正しい。Patriotism
(愛国心)とLoyaltyは、似ているが異質なもの
である。現実にはLoyaltyの高い人物は、「彼は
信用できる…」と言われ信頼されるが、愛国心
は信頼を超えた尺度である。

仕事(職務)に対して忠実であったり、会社
(企業)に対して忠実であったりした日本の社会
は、過去に経済成長という目標に向け高い効率
を達成してきた。ところが現在では、長期雇用の
名目は崩壊し、信用できるといった大企業が
倒産に瀕し、輸出市場は近隣のアジア諸国と
競合・敗北し、以前と同じものに「忠誠心」を維
持できない。

充実した人生を送るためには、何かに対して
忠実でなくてはならない。忠誠のエネルギーを
ぶつけるものが無くしては、人は達成感を得ら
れない。価値観が強烈に変化する現代社会に
おいても、そのエネルギーをどこかに収斂させ
なくてはならないのである。しかしながら、そ
の先が「愛国心」にあるとは決して思わないし、
そうであってはならない。

と私のを比べると…(といって明らかに出来の
悪いレポートを取り上げる)」
杉：「(君は自分で考える癖をつけなくてはいけ
ないから注意しているんだと思いながら)確かに
B子さんの出来は良くない。しかし曲がりなり
にも自分で考えている。私は、自分で考えて
レポートを書いてくれといっているのであって、
切り貼りの職人技を求めているのではない！」
学生A：「でも文献を見ないと書けないんです。
自分だけでは惨めなレポートになります！」
杉：「だから参考にするのとコピーとは違うと授
業中に…」

こんな具合になるのは、この例の学生さんが
実は能力が高く、「やればできる」と思っている
からである。しかし現在の学生は大変で、能力
が高くて他を評価することが可能な学生の場合、
ウェブ・サイトに転がっている他者の著作を
転用する誘惑から逃れるのは難しい。正にある
程度能力のある者ほど、危ない(モラルハザ
ードしやすい)のである。 [文：杉村 聡]

富士山景勝の道 ―逸見路―

逸見路は甲斐九筋の一つで、信州の諏訪へ通じる古道である。そのため別に「諏訪口」とも呼ばれた。逸見路とは逸見筋を通ることによりつけられたもので、さらにその逸見筋は逸見郷に由来するといわれている。逸見郷のエリアについては諸説あるようだが、『甲斐国史』によると、韮崎市一部、明野町、須玉町、高根町、長坂町、大泉町、小淵沢町を含む地域とされている。起点については、『甲斐国史』が穂坂路からの分岐点を「日野城」としている一方で、史的証拠はないが、甲斐市にある「貢川橋」を起点としていたといわれている。よって、道筋は、貢川橋（甲斐市）を起点とし、堅町、団子（甲斐市）、絵見堂、駒井、中条、次第窪（韮崎市）、富岡、日野、そして花水坂（北杜市長坂町）を下り、台ヶ原（北杜市白州町）に出るものが一般的とされている。甲州街道造設以前は、諏訪へ至るための交通路として、武田時代においては信濃侵略への軍道として重要な意味をもっていた。また、武田勝頼の落城した道としても知られる。



涙の森（韮崎市上ノ山）

韮崎市韮崎町上ノ山の「涙の森」（阿弥陀の森）は、その名のごとく、武田勝頼落城にまつわる悲話が残る伝承地。天正10年（1582）3月3日のこと、勝頼は織田軍の追撃に堪えかねて、自ら城に火を放ち、家臣小山田信茂の待つ、郡内の岩殿城目指し東へ落ちのびて行った。その時、ここから炎

で燃えさかる新府城を眺め、戦国の世のきびしさを痛感し、涙にむせんだと伝えられる。それは、古府中の城から移り、わずか2ヶ月余りのことであった。勝頼を支えた夫人も涙して、「うつつにはおもほえがたきこのところ 仇にさめぬる春の夜の夢」と詠み名残を惜しんだ。

道には富士山眺望に優れた名所がある。「花水坂」といい、それは偶然にも白州、長坂両町にある。いずれも富士山景勝の地だ。鎌倉街道の御坂峠、河内路の西行峠と並び、富士見三景の一つに数えられている。天正10年（1582）、戦国武将織田信長は、新府に攻め入るため、台ヶ原を経て、ここ花水坂（長坂）を抜けたといわれ



花水坂の富士（富士見三景の一）

る。その際、信長は花水から見る富士の美しさに見とれ、絶賛したという。江戸時代の歌人、烏丸光広も風光明媚な景観を次のように詠んでいる。

立おほふ霞にあまる富士のねに
思ひをかはす山桜かな

このように、逸見路は、富士を望むのに絶好の道でもある。

〈沿道の見所〉

―柳原神社―

韮崎市141号線沿い、三村橋入口近くにある。創建は不詳だが、文化年間の塩川の氾濫で社殿を流失、古社地から現在の地に移った。毎年6月中

旬の土曜に「小田川ホタルまつり」が開催される。小田川地区では、昭和61年よりホタル愛護活動がはじまり、平成元年には環境庁から「ふるさといきものの里（小動物生息環境保全地域）」の地域指定を受けた。祭り当日は、ふれあいホタル川や、やまぶきホタル川でのゲンジボタル観賞、蛍籠手作り教室が体験できる他、地元特産品・農産物販売コーナーなども設けられ、大人も子供も一緒になって幻想的な夏の夜を味わうことができる。

―清泰寺―

白州町花水にある曹洞宗の名刹。山号は霊長山。「甲斐国志」によると、開基は甲斐源氏の始祖新羅三郎義光の子、逸見四郎清泰とされる。天台宗の寺院として創立されたが、応永年間の火災により一時衰退、文明6年（1474）には雲鷹玄俊により曹洞宗に改宗され、再興を遂げた。東に富士、西に甲斐駒ヶ岳、北に八ヶ岳を眺望できる。石段をのぼり、右手に見えるカヤは根回り7.7m、目通り幹囲5.4m、樹高は約28mにも達する見事な巨樹。雲鷹玄俊和尚が開山記念として植えたものと伝えられる。樹齢約600年、県の天然記念物に指定されている。

―見法寺と日蓮上人の高座石―

長坂町日野地区にある日蓮宗の寺。文永11年（1274）日蓮が説教をした霊地に、身延四世日善が興国2年（1341）に創建したのが始まりという。二度の火災の後現在の本堂が再建されている。境内には集落内から移された「日蓮大菩薩御旧跡」の碑があり、その台座が道標となっている。

文永11年（1274）、日蓮は、信州から日野に立ち寄った折り、日野の或る宅で歓待を受けたため、石の上で三日三夜説法を行った。のちに、この石上に日蓮上人の石像を等身大に刻して安置した。これを「高座石」という。（写真：若林賢明）